

第11回APEC食料安全保障担当大臣会合 共同声明

2026年8月25日 中華人民共和国・杭州

1. 我々、アジア太平洋経済協力（APEC）食料安全保障担当大臣は、2026年8月25日に中華人民共和国の杭州で開催された、中国農業農村部の張柱（チョウ・チュウ）農業農村部長が議長を務める、第11回APEC食料安全保障担当大臣会合に出席した。我々は、APECビジネス諮問委員会（ABAC）、国際連合食糧農業機関（FAO）及び世界食糧計画（WFP）の参加を歓迎した。
2. 我々は、全ての人々と未来の世代の繁栄のために、開かれた、ダイナミックで、強靱かつ平和なアジア太平洋共同体を構想する「APECプトラジャヤ・ビジョン2040」への我々の志を再確認する。APEC 2026のテーマである「共に繁栄するアジア太平洋コミュニティの構築」の下、既存のAPEC枠組み、食料安全保障政策に関する政策パートナーシップ（PPFS）及びその他の関連作業部会・フォーラムの活動を踏まえ、我々は、地域の食料安全保障及び栄養の改善を促進するため、APECエコノミー間の協力を引き続き促進する。
3. 世界の食料安全保障は、共通の優先課題である。アジア太平洋地域は、世界の食料生産及び消費の中核的な拠点として、世界の食料安全保障に大きく貢献しており、農業・食料システム全体におけるイノベーション及び協力の推進を引き続き推進している。アジア太平洋地域は、近年の課題に対して強靱性を示してきた一方で、異常気象や自然災害、サプライチェーンの混乱、さらには依然として高い水準にある食品ロス及び食品廃棄（FLW）といった課題に引き続き直面している。全ての人々の食料安全保障の向上に向けて、更なる努力が求められる。こうした機会と課題を踏まえ、我々は、農業・食料システムのイノベーション主導の変革及び、必要に応じた同システムへの投資を加速させる必要性を認識するとともに、より質の高い食料、生産性の向上、効率性の改善及び強じん性の強化を目指し、全てのエコノミーが食料安全保障に関する協力を引き続き推進することを奨励する。
4. 我々は、イノベーションが農業・食料システムの変革及び食料安全保障を推進する中核的な原動力であることを認識する。我々は、「イノベーションとデジタル化によるAPEC食料システムの強じん化のための原則文書」を歓迎するとともに、人工知能（AI）等のツールの活用や農業バイオテクノロジーの発展の促進を含む、科学的根拠及びエビデンスに基づく技術活用型農業を支持する。我々は、生産性の向上、資源利用効率の改善及び強じん化に向けて、農業研究開発（R&D）への継続的な投資と、各地域の実情に即した先進的な実践手法の採用、農家主導のシステムベースのアプローチの重要性を強調する。我々は、イノベーションの一層の普及及び導入を促進するため、官民セクター、農業研究機関及び農業者の間の連携を奨励するとともに、APEC地域全体の農業・食料システムを強化するため、自発的かつ相互に合意された条件に基づく地域協力を促進する。

5. 我々は、食品ロス及び食品廃棄（FLW）の防止・削減が、食料安全保障を強化し、資源利用効率を向上させる上で重要であることを再確認する。我々は、各エコノミーが、関連するAPECの原則及び行動計画を推進し、食料バリューチェーンの強化を図るとともに、データ及びモニタリングの改善や官民連携を含む技術交流、能力構築及びエビデンスに基づくアプローチを促進することを奨励する。また、我々は、生産から収穫後処理、貯蔵、加工、物流、小売及び消費に至るまでの各段階におけるFLWの削減に向けて、必要に応じ、イノベーション、技術及びより優れた管理手法の導入を促進することを奨励する。これらの取組は、より強じんして効率的な農業・食料システムを支えるとともに、安全で栄養価が高く、手頃な価格の食料へのアクセス向上に貢献する。
6. 我々は、長期的な食料安全保障の基盤として、森林、水及び土地を含む天然資源の効果的な管理が重要であることを強調する。我々は、農業・食料システム、生態系及び経済成長が密接に関連していることを認識し、万能の解決策は存在しないことを踏まえつつ、土壌の健全性、水資源及び生物多様性の維持・向上を図りながら生産性を向上させる、実践的で科学的根拠及びエビデンスに基づく農業アプローチを支持する。我々は、必要に応じて、適応的な農業慣行、データ及びツールの活用並びにリスク管理アプローチを通じて、農業者がショックや変化する状況を予測し、管理し、回復することを支援するための協力の強化を支持する。このため、我々は、生産性、収益性、効率性及び強じん性を向上させ、全ての人々に利益をもたらすアプローチを各エコノミーが推進することを奨励する。
7. 我々は、水産業及び養殖業が、食料安全保障の確保、質の高い栄養の提供、地域社会における雇用の創出並びに国内、地域及び国際市場における魚類及び水産物の供給拡大を支える上で重要な役割を果たしていることを認識する。我々は、漁業管理に関する協力の強化、違法・無報告・無規制（IUU）漁業対策、海洋生態系の保護及び再生、責任ある漁業がバランスの強化、相互に合意された条件に基づく水産・養殖技術に関する優良事例及び情報の自発的な共有、効果的で科学的根拠に基づく漁業資源の管理の促進、沿岸地域の強じんな発展の促進並びに水産物の品質向上を支持する。
8. 貿易円滑化は、食料安全保障及び市場の強じん性の基盤となる重要な柱である。我々は、貿易が、食料安全保障の実現、食料サプライチェーンの混乱の最小化及び全ての人々に利益をもたらす、開かれ、公正で、透明性が高く、生産的で、強じんかつ革新的な農業・食料システムの促進において重要な役割を果たすことを認識する。我々は、APEC地域全体の食料安全保障の強化及び農業・食料システムの強じん性の向上に向けた具体的な取組を引き続き推進することにコミットする。我々は、貿易に影響を与え、又はサプライチェーンを混乱させる可能性のある措置について、透明性を確保することの重要性を認識する。我々は、地域における農業・食料貿易を支援するため、デジタル化、技術サービス、物流、サプライチェーン管理、必要に応じた動植物疾病の予防及び防除を含

む科学的根拠及びリスクに基づく基準の実施等の分野における協力を奨励する。

9. 我々は、農業投資が、新たな市場及び開発の機会を創出し、地域のバリューチェーンの効率性及び強じん性を向上させ、経済成長を促進するとともに、農業・食料部門の競争力強化に資することを認識する。我々は、より強じんで活力ある農業・食料システムを構築するため、APECエコノミーが農業投資を促進する政策を推進するとともに、必要に応じて、アジア太平洋地域における協力を促進することを奨励する。
10. 食料の生産、加工、流通及び消費は、全ての人々の参画の下、農村開発や経済的機会、活力ある農村・地域社会の重要な原動力となり得る。我々は、農村開発における技術の役割を認識するとともに、食料システムに関するあらゆるレベルの意思決定への参画を促進しつつ、起業活動及びデジタル・トランスフォーメーションを通じて、相互に合意された条件に基づくイノベーション及びデジタル技術への自発的なアクセスを奨励する。我々は、官民協力を通じて、研修及び能力構築プログラムの強化のため、関係者間の連携を奨励する。
11. 我々は、食料安全保障及び農業の強じん性を支える基盤として、農村開発を強化することへのコミットメントを再確認する。我々は、これらの取組が農業者の所得向上、生活の改善及び経済成長に貢献し得ることを認識しつつ、必要に応じて、農村インフラの整備、農業・食料部門の発展の促進及び農村地域における公共サービスの向上を各エコノミーが推進することを奨励する。
12. 我々は、食料安全保障に関する協力を促進する上で、PPFS、海洋・漁業作業部会（OFWG）、農業技術協力作業部会（ATCWG）、農業バイオテクノロジーに関するAPECハイレベル政策対話（HLPDAB）等の関連するAPECフォーラム及び作業部会が果たす役割を認識する。我々は、食料安全保障上の課題への対応に向けた協力の在り方について、PPFSにおいて民間部門がその貴重な専門的知見、実務的な洞察及び有益な助言を共有する役割を支持する。これには、優良事例の共有及び協働して取り組むべき課題の特定が含まれる。
13. 我々は、この有意義かつ実り多い食料安全保障担当大臣会合を開催した中華人民共和国に対し、心からの謝意を表する。我々は、2027年にベトナムで開催される第12回APEC食料安全保障担当大臣会合を期待する。